

福岡共同 公文書館だより

Fukuoka Communal Archives

vol.26

令和7年9月
Sep 2025



▲展示室の様子

TOPICS / ロビー展解説…………… 2～3 頁

- 日めくり公文書館…………… 4 頁
- 所蔵資料のご紹介…………… 5 頁
- 企画展のご案内…………… 6 頁
- 施設見学会のご案内…………… 7 頁
- 施設利用のご案内…………… 8 頁

戦後80年 ロビー展 福岡と戦争の記憶

開催期間：令和7年8月1日（金）～8月31日（日）

昭和20年（1945）8月15日の終戦から、今年で80年が経ちました。戦後の経済成長とともに、福岡県は大きく変貌し、アジアの交流拠点として目覚ましい発展を遂げました。しかし、そのような成長と発展の中で、悲惨な戦争の記憶はしだいに風化しつつあります。

公文書という歴史の証人を通して、決して忘れてはならない戦争の記憶をたどるパネル展を開催しました。その一部をご紹介します。



【行政資料】 福岡県の戦争遺跡

発行者：福岡県教育委員会

発行年：令和2年（2020）

概要

平成29年度から31年度にかけて、福岡県教育委員会による県内の戦争遺跡の調査が行われました。この調査により存在が確認された県内の戦争遺跡（慰霊碑等も含む）の一覧表が当資料に掲載されています。

【行政資料】 西鉄筑紫駅列車銃撃事件の記録

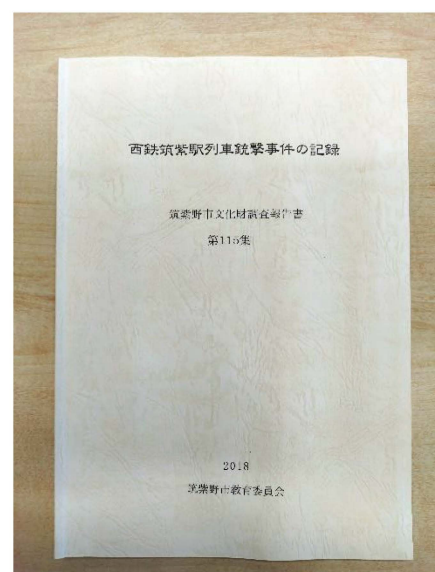
発行者：筑紫野市教育委員会

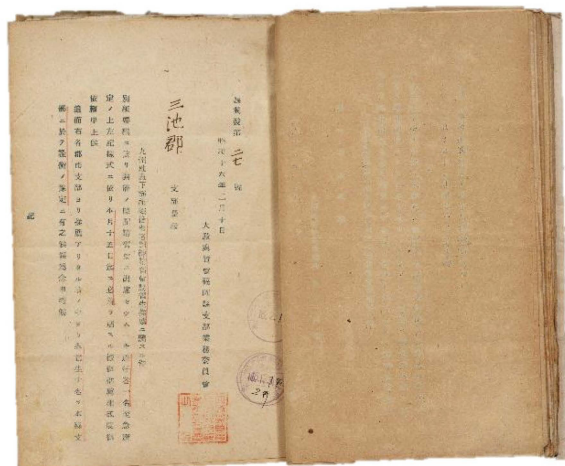
発行年：平成30年（2018）

概要

昭和20年（1945）8月8日に、西鉄大牟田線筑紫駅付近で、列車数本が米軍戦闘機の機銃掃射を受け、多数の乗客等が死傷する痛ましい事件が起きました。

この資料には、事件を体験された方々の証言が数多く収録されており、凄惨な事件の様子を今に伝えています。





【特定歴史公文書】(市町村文書) 大政翼賛会に関する資料

資料名：町村長会事蹟

資料ID：1-2-0019532

完結年度：昭和16年(1941)

概要

第2次世界大戦が勃発し、日本国内ではドイツに倣った新体制運動が盛り上がり、昭和15年(1940)に大政翼賛会が成立しました。

この資料は、昭和16年(1941)2月10日に、大政翼賛会福岡県支部業務委員会から、三池郡の支部長にあてた文書で、九州地区下部組織指導者訓練講習会に出席する講習生を一名推薦するように書かれています。

【特定歴史公文書】(市町村文書) 戦時報国債券

資料名：戦時報国債券(金拾圓)

資料ID：1-2-0051376

完結年度：昭和17年(1942)

概要

戦時報国債券(戦時国債)は、戦費を調達するために売り出された債券です。昭和17年(1942)2月から2か月ごとに売り出されました。この資料は昭和17年(1942)12月(第6回)に発売されたものです。



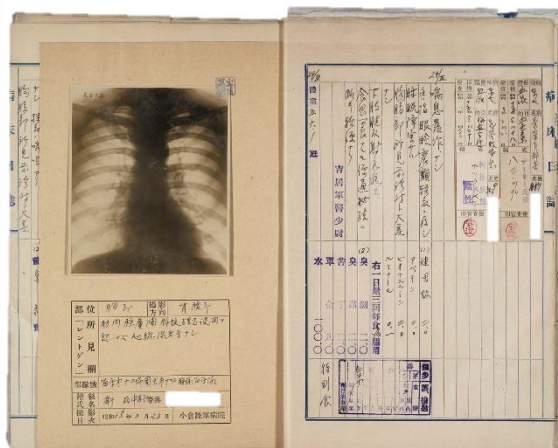
【特定歴史公文書】(県文書) 陸軍病床日誌

完結年度：大正7年～昭和22年頃(1918～1947頃)

概要

第一次世界大戦ごろから太平洋戦争終戦までにかけて小倉陸軍病院に入院した傷痍軍人のカルテです。戦闘による受傷からマラリアや結核などの感染症、精神疾患に至るまで様々な傷病の治療の過程が克明に記録されています。

戦後、陸軍病院が旧厚生省の管轄となった際、国が一時的に管理し、その後、援護・恩給事務を所管する福岡県が保管していましたが、平成26年(2014)に当館へ移管されました。全334冊。



日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

長期保存事業 映像資料をデジタルへ

ビデオテープは経年劣化によって視聴できなくなることをご存じですか。福岡共同公文書館で所蔵している資料の中には、ビデオテープや8ミリフィルムなど紙以外のものも保存されています。ビデオテープは磁気記録媒体として物理的な寿命があり、その耐用年数は約30年とされています。保存状態によって前後しますが、今後、多くのテープが劣化により再生不能となることが想定されます。

さらに、2016年を最後にビデオデッキが生産終了となりました。ビデオデッキに使われる部品の製造量も減っており、新たな機器の生産が難しいのに加え、機器修理・保守のためのノウハウも徐々に失われつつある状況です。

そこで、福岡共同公文書館ではビデオ映像のデジタル化に取り組んでいます。数十年しか保存できない一般的なDVDディスクではなく、100年保存可能なブルーレイディスクに保存しています。今後も大切な資料を後世に伝えていきます。



▲平成2年とびうめ国体集団演技 (1-1-0055496)



▲とびうめ国体秋季大会 開会式
(H2.10.21 東平尾公園博多の森陸上競技場)

出張展示事業 おいでよ！福岡共同公文書館へ ～館外展示～

多くの方に「福岡共同公文書館」を知っていただくため、当館では、「おいでよ！福岡共同公文書館へ」と題し、出張展示を実施しています。今年度はこれまで、筑紫野市、鞍手町、田川市にお伺いしています。今後も、公共施設等のギャラリー等をお借りして、県内の地域を巡る予定です。



▲筑紫野市民図書館
期間：4/16（水）～5/9（金）



▲鞍手町中央公民館
期間：6/27（金）～7/18（金）

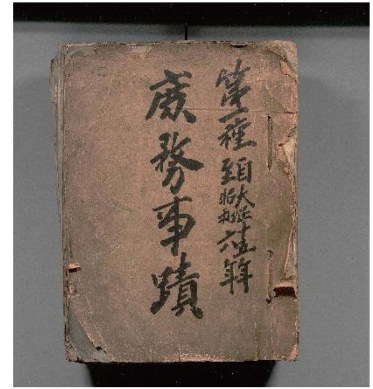


▲田川市石炭・歴史博物館
期間：7/18（金）～7/31（木）

所蔵資料の紹介

令和8年で、昭和元年から起算して満100年を迎えます。昭和の時代は、激動と復興の時代でした。今回は、昭和の時代の幕開けに関連する文書を紹介します。鞍手郡小竹町は、明治の大合併と称される明治22年町村制施行の際、勝野村、新多村、新山崎村、南良津村、御徳村、赤地村が合併して、勝野村として発足しました。小竹町史に、勝野村と称することにやや異議があったと記されています。

自大正十五年 至 昭和六年
庶務事蹟



▲自大正十五年 至 昭和六年 庶務事蹟
(庶務事蹟 第一種) (1-2-0044495)

その後、明治末年から大正初めには町村合併はあまりありませんでしたが、大正12年に郡制廃止法が施行され、勝野村では町制施行への移行措置が動き始めました。

大正15年6月12日に名称を「小竹町」とする「町制施行二関スル件」の議案が可決、同年9月3日に知事に稟請、昭和2年12月17日に許可、昭和3年1月1日から町制が施行されました。

今回紹介する資料は、昭和2年12月17日の町制施行に関する件の許可書です。

許可を受ける際の申請書には、小竹駅の乗降客が九州線管内中10位であることや、移住者も多いことなどがあり、炭鉱の発展により大いににぎわっていたことがうかがえます。

また、添付資料には、当時の人口等の推移や職業別の人口、勝野村の財政状況などもあり、当時の事情が詳細に記されています。



▲「町制施行二関スル件」

この資料は、激動の昭和史の幕開けのときに、どのような出来事が起こっていたのかをうかがうことのできる貴重な資料です。

本館は、福岡県と、福岡市及び北九州市を除く58市町村の、明治時代からの公文書を約18万冊保存しています。お住まいの市町村についての成り立ちや当時の状況を詳しく調べてみてはいかがでしょう？

来年、「昭和100年」を迎えるにあたって、昭和を鑑み、昭和

に学ぶことの良い機会になればと思います。多くの皆様のご来館をお待ちしています。

(副館長 小松 慎也)

当館で所蔵している資料は、ホームページの「所蔵資料検索」から検索できるよ！
見たい資料が所蔵されているかどうか、探してみてね！



企画展のご案内

令和7年度企画展

「あれもこれも公文書～形態から見る公文書の世界～」

令和3年9月にデジタル庁が設置され、社会全体のデジタル化が急速に進んでいます。公文書（行政文書）もその作成から保存まで、すべてデジタル管理を前提とする方向であり、従来の「紙」を中心とした作成・保存の様式から大きく変わろうとしています。

今回の企画展は公文書の作成・保存の様式に着目し、様々な形態の作成物や保存のための媒体・容器など、物質的な視点から眺めた歴史的公文書の様相を紹介します。



期 間：令和7年9月5日（金）～令和7年12月14日（日）

時 間：午前9時から午後5時

休館日：月曜日及び祝日

（月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館）

場 所：福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号
福岡共同公文書館 1階 展示室



ロビーでは、令和8年2月28日（土）まで、
「博多湾鉄道 大私鉄を夢見た鉄道～JR 香椎線全線開業 120 周年、西鉄宮地嶺線宮地嶺開業 100 周年を記念して～」
と題した展示を行っています。

施設見学会のご案内

施設見学会を開催します！

公文書館を身近に感じてもらうため、公文書館でどのような作業を行っているのか、普段は公開していない公文書の保存庫や作業室などバックヤードを巡る施設見学会を開催します。

また、企画展「あれもこれも公文書～形態から見る公文書の世界～」開催期間中は、企画展（期間外は常設展）の解説も併せて行います。

開催日時

【企画展開催期間中】

- ① 9月11日（木） ② 10月9日（木）
- ③ 11月13日（木） ④ 12月11日（木）

【企画展期間外】

- ⑤ 1月8日（木） ⑥ 2月12日（木）

いずれも 10：30～12：00

※受付 10：00～

募集人員

各20名（先着順）・参加無料

※開催希望日の前日までにお申し込みください。
定員に達した場合は、当館HP上で周知予定です。

申込方法

お電話、FAX、電子メール、郵送又は公文書館窓口にてお申し込みください。
FAX、電子メール又は郵送でお申し込みの場合は、下記必要事項を記載してください。

- ① タイトル「施設見学会」
- ② 参加者氏名（ふりがな）
- ③ ご住所（都道府県、市区町村まで）
- ④ お電話番号（あればFAX番号）
- ⑤ 参加希望日

※見学にあたって配慮が必要な場合は、事前にお知らせください。

問合せ先

福岡共同公文書館

〒818-0041

福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号

電話番号 092-919-6166

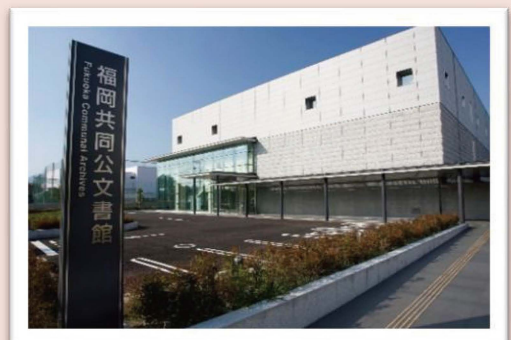
FAX 092-919-6168

電子メール kobunsyokan@pref.fukuoka.lg.jp

※休館日：月曜日、祝日

（月曜日が祝日の場合は翌日も休館）

※その他詳細の情報については、当館HPをご参照ください。



施設利用のご案内

会議室・研修室を利用できます！

福岡共同公文書館では、会議室・研修室を有料で貸し出しています(要事前申込み)。

施設の収容人数や利用料金は以下の表をご参照ください。

- 会議室は、少人数の会議やサークル活動にご利用いただけます。
- 研修室は、音響・映像システムを備え、90名まで収容できるため、講演会や講習などにご利用いただけます。(駐車スペースが豊富です。)
- 目的によっては、ご利用いただけない場合があります。

	収容人数	面積	金額(1時間につき)
会議室	16名	58㎡	400円
研修室	90名	171㎡	1,180円

会議室・研修室を利用される場合は、日程の空き状況の確認や附属設備の利用等、お電話で事前にお問い合わせいただくと、スムーズにご案内できます。

申請書は、当館のHP(「利用案内」)からダウンロードしてご提出ください。

冷暖房無料!!



▲会議室



▲研修室

閲覧室のご利用について



▲閲覧室

閲覧室では、配架している行政資料を自由に閲覧でき、設置している検索用パソコンで歴史公文書及び行政資料の検索ができます。

歴史公文書や行政資料の複写をご希望の方は、係員にお申し付けください。お手持ちのカメラによる撮影をご希望の方も、係員へご確認ください。

	複写料(1枚につき)
白黒	10円
カラー	30円
マイクロフィルムからの印刷	10円

※その他詳細の情報については、当館HPをご参照ください。

福岡共同公文書館

〒818-0041
福岡県筑紫野市上古賀 1-3-1

電話 092-919-6166

FAX 092-919-6168

JR

西鉄

車

交通アクセス

「二日市駅」下車徒歩約13分または
西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

「二日市」下車
西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

九州自動車道「筑紫野インター」より約5分



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。